airCloset

会社説明資料

株式会社エアークローゼット

株式会社 エアークローゼット 代表取締役社長 兼 CEO

# 天沼 聰

ロンドン大学卒業 アビームコンサルティング株式会社 IT・戦略コンサルタントを約10年経験

楽天株式会社 UI/UXに特化のWebグローバルマネージャー 2014年7月 株式会社エアークローゼットを設立



# 会社概要

創業以来、月額制ファッションレンタルプラットフォームの運営を中心に事業を行っているファッション テック (\*\*1) 企業

会社名	株式会社エアークローゼット	
所在地	東京都港区南青山3-1-31	KD南青山ビル5F
設立	2014年7月	
役員	取締役副社長 前, 取締役 小名 社外取締役 月, 社外取締役 榊 社外取締役 武 監査役 内 監査役 (非常勤) 樋	沼聰 川祐介 合翔一 森正憲 原健太郎 市智行 田行彦 田で輔 部達行
従業員数	<b>106名・女性従業員比率56%</b> (2022年3月末時点/正社員・契	2約社員・インターン)
事業内容	ファッションレンタルプラッ	トフォーム「airCloset」の運営



### Vision & Mission

エアークローゼットは、下記のVision & Missionを掲げ、人々のライフスタイルがより豊かになるよう、 時間価値を向上させる事業を創造し続けます。

Visior

"ワクワク"が空気のようにあたりまえになる世界へ

Missior

発想とITで人々の日常に新しいワクワクを想像する

## ▍超情報化社会による時間価値の向上

超情報化社会により情報・モノが溢れ、人生の限られた時間に対し、忙しさが増しています。だからこそ、人の「時間の価値」が向上し、最適な時間の使い方が求められるとともに、AI・データ活用やパーソナライゼーション・サブスクリプションといった時間活用の最適化を促すサービスニーズが高まっています。



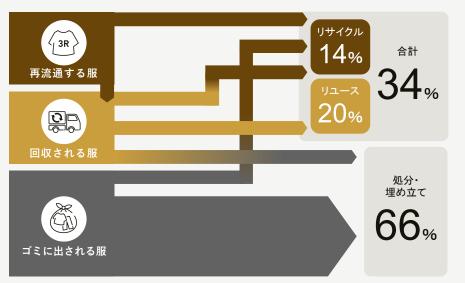
AI・データ活用

パーソナライゼーション

サブスクリプション

### ┃サステナビリティ意識の上昇

SDGsに代表されるように、サステナビリティ意識が広がっています。特に、ファッション業界ではこれまでの大量生産・大量消費・大量廃棄の業界姿勢の見直しが求められています。業界の在り方には、消費者意識の変化と共にシェアリングエコノミー・サーキュラーエコノミーを通じた大きな変化が予想されます。



大量生産・大量消費・大量廃棄の 時代は終わりを迎える

ファッション業界でも循環型経済 が求められている

※ 出典:環境省「サステナブルファッション (Sustainable Fashion)」

サステナビリティ

シェアリングエコノミー

サーキュラーエコノミー

## ▍月額制ファッションレンタルサービス

月額制ファッションレンタルサービス「airCloset」は、時間の有効活用、サステナビリティという視点で次の世代のファッション消費を提案する新しい選択肢です。

AI・データ活用

サステナビリティ

パーソナライゼーション

# airCloset

シェアリングエコノミー

サブスクリプション

サーキュラーエコノミー

# airClosetのサービス概要

自らの好みやサイズ等を登録した上で、レンタルアイテムを受け取り、返却期限やクリーニング等を気にすることなく着用し、返却するというシンプルなサービス。気に入ったお洋服は買取りが可能。

#### Step 1

自分の好みやサイズ等を 登録する



オンラインで簡単に登録

Step 2

プロのスタイリストが 選定した洋服が届く



3着or 5着/回

Step 3

新しい自分を楽しむ



気に入ったら**買取り**できる

Step 4

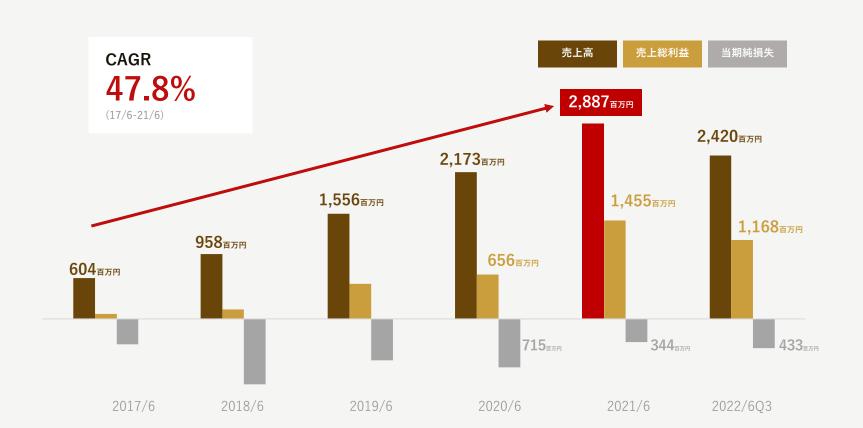
楽しんだらそのまま返却



クリーニング**不要** 

# エアークローゼットの業績推移

創業以来、月額会員数増加による売上規模の拡大を継続的に実現し、同時に利益率の改善も継続。



# 競争優位

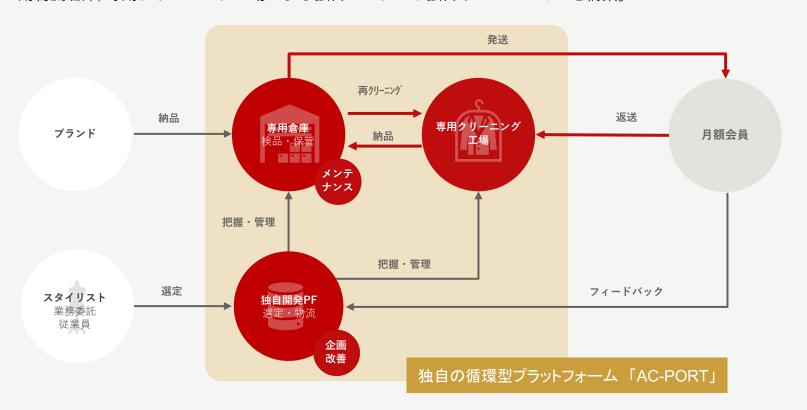
以下の3つの強みにより競争優位を確立。

1 独自に構築を行った **循環型** プラットフォーム

2 高い成長性を実現する パーソナル スタイリング **3** サブスク・データ活用による **高い顧客満足度** 

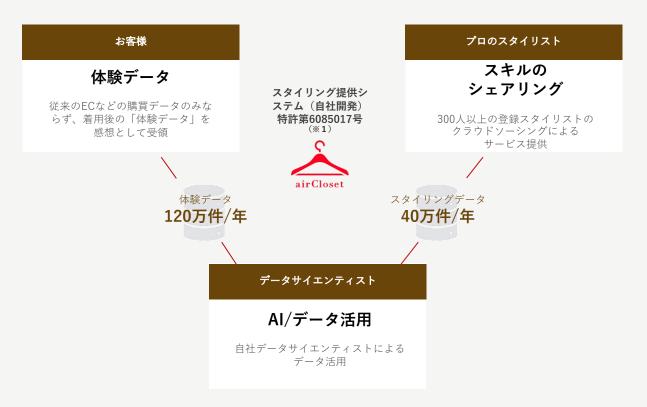
# ▍独自の循環型プラットフォームを構築

循環型プラットフォームを構築するため、**創業時から社内に物流専門チームを設置**し、協力会社と共に専用物流倉庫/専用クリーニング工場による独自システムや独自オペレーションを構築。



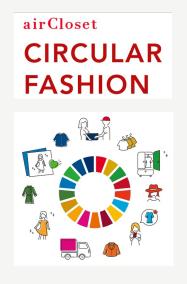
#### ▍特許取得の独自のパーソナルスタイリング

パーソナルサービスの量及び品質を担保するため、自社システムにより、「スキルのシェアリング」と「体験データ」、「AI/データ活用」を徹底して管理・活用。



### ┃サーキュラー・ファッションの実現へ

創業当初よりシェアリングの概念が持続可能な経済社会の創造に結びつくことを信念とし、サービス開発を実施。2022年2月には、自社が取り扱うお洋服に関する衣服廃棄ゼロの実現を発表し、以降も同取り組みを継続。





# ごみに出される衣服の総量と処理方法 再資源化 😈 % 24,000t 可燃・不燃ごみに出される 衣服の総量 **508,000**t

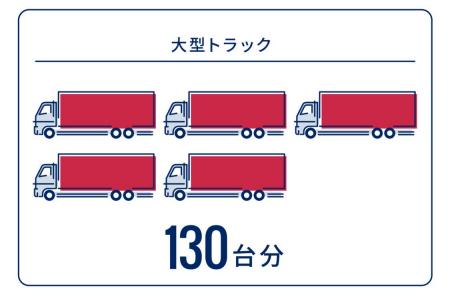
焼却・埋め立て 切り%

484,000t

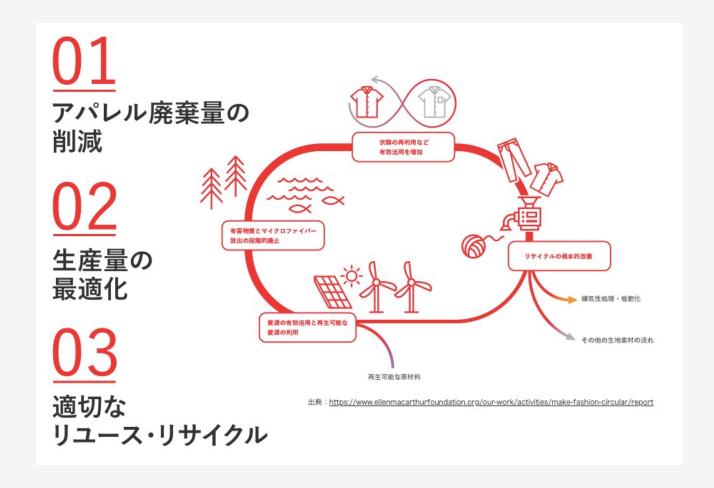
1日あたりに焼却・埋め立てされる衣服の総量(平均)

1,300 t/Day









# 2022年7月29日 グロース市場上場

モノのサブスクリプションでは初



# 日本サービス大賞 内閣総理大臣賞を受賞

創業10年未満のスタートアップ企業の内閣総理大臣賞 受賞は初





### ┃メーカー公認月額制レンタルモール airCloset MaⅡ

- マットレスや美顔器など、話題の商品を月額制でレンタルできる
- ライフスタイルの中で利用し、購入前にじっくり試せる



### 成長戦略(中長期)

現状4% (\*\*:) である「①女性の認知拡大」に加えて、構築済みの仕組みを活用した「②事業領域の拡大(メンズ等他セグメント・物流プラットフォーム展開)」、を進め、さらには「③アジア展開」を行い、パーソナルスタイリングと循環型プラットフォームを武器とした成長を図る。



事業領域拡大による成長

事業領域

### 終わりに

- ・循環型経済に向けた事業の取り組みには物流面の整備が必要不可欠
- 配送料の高騰等の不透明さ
- ・国民のサステナビリティ意識の向上が必要
- 未だ消費者の行動変容が起きていない ex.経済施策等の利用促進(サステナビリティサービスの利用促進等)など
- ・アパレル業界では被服データ(原材料やサイズなど)として共有される仕組みが必要
- 現状は各社が個別に対応
- ・株式市場においてどの会社、事業が循環型なのかサステナブルなのか明示的になってない
- **課題** 循環型ビジネスは、将来に向けた評価がされづらい